

一番近い、町の人と生徒との つながりに、ふれる



この連載コラムのテーマを「あの人と学校」にしようと思ったきっかけは、川根高校生にとって一番身近な徳山地区の方からお話を伺ったことでした。そのエピソードをご紹介します。

あの人と学校



「徳山の人と川高生」

文：川根高校魅力化コーディネーター
(地域おこし協力隊)

伊神花織

川根高校を中心に、学校での取り組みを魅力化コーディネーターの立場から、地域の方などへのインタビューを交えて紹介します。

小さな交わりでいい きっとそれが未来につながる



毎日生徒とあいさつをするという
梶山さん。川高正門近くのご自宅で

この掲載を単なる活動報告ではなく、どうしたら町の方々にとって、うれしい内容になるかを考えていた時、学校の前で偶然あいさつを交わした梶山さんがヒントをくださいました。

梶山さんは、数年前に、夕立の中を濡れながら帰る生徒に傘を貸したそうです。それから数年後、卒業したその生徒から声をかけられ、傘を貸してもらえたことを、とても感謝されたとお話してくださいました。

「小さなちよっとした親切を、いつまでも憶えていてくれたと思うと、とてもうれしかった。その喜びは、今でも忘れられません。」と梶山さんは話してくれました。このような小さな交流が、生徒と地域の方にとって一番価値があるので、と思いました。

そこに住む人の言葉で知る だからこそ価値がある



徳山神社を紹介した吉田さんと

例年、川根高校の1年生は町について知るために、地域の方を訪問していました。今年も新型コロナウイルス感染症の影響で断念しました。それでも地域の方からお話を伺う機会がないかと考え、徳山地区の8カ所のスポットを、8名の方に紹介してもらおう動画を制作しました。

生徒は動画で紹介された場所に行き、その場所にまつわる文化や歴史を学びます。そして学習の最後に、自分にとって「価値ある1枚」を撮影し、生徒同士で紹介し合うことで徳山地区に対する理解を深めていきます。町の方の言葉で伝えることで、それがただの情報ではなく、この町の本当の姿を知ることにつながるのではと思います。



伊神花織 (いがみ かおり)

愛知県出身。広告代理店の営業を経て、教育コーディネーターとして大阪・東京で小中学校のキャリア教育に従事。高校教育に関わりたいと思い、魅力化コーディネーターを志望して本町へ。本町にはバイクツーリングで訪れており、景色の美しさや町の方々の優しさに触れる機会が多くあり、以前から好きな場所でした！

川根高校のフェイス
ブックページ

伊神さんが更新。
川高生の様子から授業での豆知識まで発信。

